

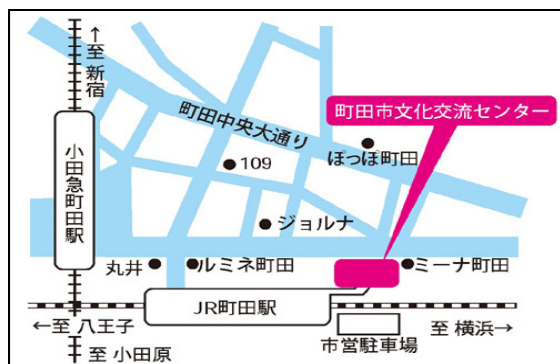
ゼロ・ウェイストワークショップ

「首都圏におけるごみゼロ大作戦」

21世紀は環境の時代といわれます。町田市では、2006年から、「ごみを燃やさない、埋めない、作らない」という理念のもとに1年間の大規模な「ごみゼロ市民会議」がおこなわれ、以来ゼロ・ウェイスト（もったいない）社会の実現に向けた多くの取り組みが進んでいます。ゼロ・ウェイストとは、無駄をなくし資源を大切にしながら環境を良くしていこうという考え方です。

ここで、人口42万人の町田市が、「ゼロ・ウェイスト宣言」を制定し、全市民が「もったいない精神」を共有することは、首都圏でのごみの削減と資源化について重要な示唆をあたえるものと思われます。本ワークショップでは、基調報告と3人のパネリストのお話を交え、ゼロ・ウェイストのまちづくりについていろいろな角度から考えます。

- 日時 2010年3月13日(土)14:00~16:45(開場13:30)
- 会場 町田市文化交流センターホール(旧ぱるるプラザ町田6F)
- 参加費 無料
- 主催 NPO法人町田発・ゼロ・ウェイストの会
- 後援 環境省 トヨタ財団 町田市(申請中)
- 内容 1部 基調報告「町田市・ゼロ・ウェイスト宣言への挑戦」
広瀬立成(NPO法人町田発・ゼロ・ウェイストの会理事長)
- 2部 討論会
パネリスト 森英二氏(葉山町 町長)
小澤徳太郎氏(環境問題スペシャリスト)
仲村達郎(本NPO理事)
コーディネーター 百武ひろ子氏(プロセスデザイン研究所代表)



会場案内
町田市文化交流センター(旧ぱるるプラザ町田)
■ 所在地/アクセス
町田市原町田4丁目1番地14号
Tel. 042-711-6611
JR横浜線「町田駅」町田ターミナル口直結
小田急線「町田駅」西口から徒歩5分
■ 駐車場(機械式)高さ1.55m、横幅2.0m以内。

問い合わせ 090-5316-1484 (中川)
090-5542-7118 (谷仲)

付記: 本NPOは「首都圏における生ごみ全量堆肥化による地域内・循環型社会の形成: 市民、行政、企業の連携を基礎として」というプロジェクト名で、「21年度・環境省循環型社会地域支援事業」に採択されました。本企画は、この事業の一環として行なわれます。

森 英二さん(パネリスト)



1940年1月東京生まれ。明治大学商学部卒業と同時に経営コンサルタントの研究所に入所。その後、国家資格「中小企業診断士」の資格を取得。独立して、「森経営研究所」を主宰。併せて、「産業能率大学」の事業本部講師として、主に大手企業の社員研修、新入社員研修、横浜市・横須賀市他の職員研修などを行う。昭和58年より14年間葉山町議会議員を務め、町長選挙に連続立候補し4度目の挑戦で当選(2008年1月)。公約に掲げた「ごみ処理広域化で無く、脱焼却・ごみゼロを目指す」を推進中。

小澤 徳太郎さん(パネリスト)



私は1973年から2010年の今日まで、仕事として日本とスウェーデンの「環境問題への取り組み」全般を同時進行でウオッチしてきた。同じ情報を与えられても、その解釈は異なることがある。それぞれの判断基準が異なるからだ。廃棄物の分野で言えば、日本は「分ければ資源、混ぜればごみ」、スウェーデンは「今日の製品は明日の廃棄物」。日本は「循環型社会」へ、スウェーデンは「エコロジカルに持続可能な社会」へ向かっている。

仲村 達郎(パネリスト)

1939年鶴川村で生まれる。退職後2001年、環境保全を目的に、主としてEMを利用して生ごみを土にかえず会(名称:EM窪平)を立ち上げる。同時に遊休耕作地300坪を借り区画を分け、EMを使った無農薬、無化学での有機野菜栽培をはじめ。現在1000坪を借り、共同農園も併設、会員100名、同会代表。2006年町田発・ゼロ・ウェイスト宣言の会の発足に参画。2006年ごみゼロ市民会議の生ごみ部会長。現 NPO法人町田発・ゼロ・ウェイストの会理事・町田ごみ減量連絡協議会幹事長。

百武 ひろ子さん(コーディネーター)



早稲田大学で建築デザインを学んだのち、野村総合研究所研究員を経て、渡米。ハーバード大学デザイン大学院で都市デザインを学ぶ。現在、(有)プロセスデザイン研究所代表、NPO法人合意形成マネジメント協会理事長、早稲田大学芸術学校都市デザイン科講師 一級建築士、博士(工学) 町田市ごみゼロ市民会議アドバイザー、町田市廃棄物減量等推進審議会委員、葉山町ゼロ・ウェイスト推進委員会委員をつとめる。